

臨床検査総合演習

単位数：3単位(90時間)

責任者：専任教員
学年・学期：第3学年・前期／後期

◆一般目標(GIO)

臨床検査技師国家試験出題基準に沿った模擬試験を実施し、国家試験に合格できる実力を養成することを目的とする。

◆到達目標(SBOs)

1. 国家試験出題基準に準じた模擬試験を受け、60%以上正解できる。
2. 模擬試験問題を基に口頭試問を行い、70%以上正解できる。
3. 過去10年間分の国家試験問題の90%以上正解できる。
本科目の試験範囲は以下の国家試験ガイドライン全範囲とする。

I章 臨床検査総論

- ①検査総合管理学(検査管理総論) ②生物化学分析検査学(臨床検査総論)
- ③形態検査学(医動物学)

II章 臨床検査医学総論

- ①臨床病態学(臨床医学総論) ②臨床病態学(臨床病理学総論)
- ③保健医療福祉と医学検査(医学概論)

III章 臨床生理学

- ①人体の構造と機能(生理学) ②生理機能検査学(臨床生理)

IV章 臨床化学

- ①人体の構造と機能(生化学) ②生物化学分析検査学(臨床化学、RI)

V章 病理組織細胞学

- ①人体の構造と機能(解剖学) ②医学検査の基礎と疾病との関連(病理学)
- ③形態検査学(病理組織細胞学)

VI章 臨床血液学

- ①形態検査学(臨床血液学)

VII章 臨床微生物学

- ①医学検査の基礎と疾病との関連(微生物学)
- ②病因・生体防御検査学(臨床微生物学)

VIII章 臨床免疫学

- ①病因・生体防御検査学(臨床免疫学)

IX章 公衆衛生学

- ①保健医療福祉と医学検査(公衆衛生学) ②保健医療福祉と医学検査(関係法規)

X章 医用工学概論の出題基準に沿って説明することができる。

- ①医用工学及び情報科学(医用工学概論) ②医用工学及び情報科学(情報科学概論)
- ③検査総合管理学[検査機器学](検査機器総論)

◆学習方法

模擬試験問題の自己採点をおこない、自ら解説を作成する。また、学生同士で口頭試問及び教員によるフィードバックを行い、知識を確実に身につける。

◆評価方法

1月中旬から2月上旬にかけて行う4回の臨床検査総合演習による総合評価。
尚、前期、後期に実施する模擬試験の成績も参考とする。

◆教科書

臨床検査学講座 医歯薬出版(株)

◆参考書

臨床検査技師国家試験問題集 日本臨床検査学教育協議会編 医歯薬出版(株)

臨床検査技師国家試験ファースト・トレーニング 医歯薬出版(株)

◆教員紹介

担当教員は病院での勤務経験に基づいて、臨床検査技師養成に向けた授業を展開する。

回数	項目	講義内容	担当
1	ガイダンス	臨床検査演習の科目履修について 国家試験の傾向について 模擬試験の解説の付け方等について 口頭試問の進め方について	専任教員
2			
3			
4			
5			
6	第1回模擬試験 口頭試問・フィードバック	国家試験形式による模擬試験を行い自己採点、解説を付ける。 知識の確認を行う。	〃
7			
8			
9			
10	第2回模擬試験 口頭試問・フィードバック	〃	〃
11			
12			
13			
14			
15	第3回模擬試験 口頭試問・フィードバック	〃	〃
16			
17			
18			
19			
20	第4回模擬試験 口頭試問・フィードバック	〃	〃
21			
22			
23			
24			
25	第5回模擬試験 口頭試問・フィードバック	〃	〃
26			
27			
28			
29			
30	第1回臨床検査 総合演習試験	卒業試験に相当する試験(国家試験形式)	〃
31			
32			
33			
34	第2回臨床検査 総合演習試験	〃	〃
35			
36			
37			
38	第3回臨床検査 総合演習試験	〃	〃
39			
40			
41			
42	第4回臨床検査 総合演習試験	〃	〃
43			
44			
45			
46			